

隣接する他の無線システムの情報

資料81-40-2

(715～725MHz帯)

	ITS
用途	自動車の安全運転支援を主な目的とする用途
局数	(導入開始から10年目に30.6%の普及率を想定※) ※ITS無線システムの高度化に関する研究会報告書(平成21年6月 総務省)より
周波数の使用に関する条件	(特になし)
特徴	・車車間通信、路車間通信により、自車や周辺車両の位置や速度等の情報を送受信
主な使用例	・見通しの悪い交差点等における出会い頭衝突事故防止支援 ・交差点における左折時・右折時衝突事故防止支援 ・緊急車両の安全支援(周辺車両への情報提供) 等
その他	・地上テレビジョン放送デジタル化後の空き周波数を平成24年7月以降に使用予定。現在、技術的条件について情報通信審議会において審議中。(平成22年6月答申予定)

	FPU
用途	番組素材中継用 (放送番組を制作するため、取材・報道現場(災害、事件、事故、イベント、スポーツ等)から、生中継やニュースなどの番組素材の伝送に使用)
局数	約150局
周波数有効利用	ラジオマイクと周波数共用、4波を各放送局で運用調整しながら共用。
特徴	<ul style="list-style-type: none">・800MHz帯FPUは、映像伝送エリアが広範囲であったり、都市部のような伝搬障害の多い地域などにおいて番組素材中継が可能な唯一のシステムであり、緊急報道に不可欠なもの。・今後は地デジ放送に対応するため、ハイビジョン伝送を可能とするFPUが平成23年度に制度改正され導入予定。
主な使用例	<ul style="list-style-type: none">・災害(台風中継など)・事件(有名人薬物所持事件、容疑者護送など)・事故(船舶衝突事故など)・火災(繁華街ビル火災など)・大衆国民向け報道(選挙、サミット関連、首相靖国参拝、高速道路渋滞状況、気象状況、桜開花状況など)・スポーツ(東京マラソン／箱根駅伝／びわ湖毎日マラソン等の各種ロードレース、ボート競技、その他全国におけるスポーツ大会など)・その他(花火大会等イベント中継、バラエティ番組・情報番組中継など)

(770～806MHz帯)

	デジタル特定ラジオマイク	特定ラジオマイク(A型)
用途	放送業務、音響関係業務等の高音質で伝送することを目的とする用途	
局数	約1.7万局	
周波数の使用に関する条件	(特になし)	779～788MHz帯及び797～806MHz帯に限る。
その他	FPUと周波数共用。 平成21年3月にデジタル化された。	FPUと周波数共用。

(806～810MHz帯)

	特定小電カラジオマイク(B型) 【デジタル】	特定小電カラジオマイク(B型) 【アナログ】
用途	一般的な音楽・アナウンス用	
局数	(年間出荷台数:約10万台強) ※ 平成19年度電波の利用状況調査より	
周波数の使用に関する条件	(特になし)	
その他	免許不要。	

(850～860MHz帯及び905～915MHz帯)

	MCA
用途	MCA陸上移動通信業務
局数	約26.4万局
周波数の使用に関する条件	上下対の二周波方式に限る。
特徴	一斉通信機能により短時間で指示を徹底でき、災害時にも通信を確保できるため、従来の用途の他、地方自治体の防災利用、企業の危機管理のための利用などが急増。
主な使用例	<ul style="list-style-type: none">・自治体が移動系・同報系の防災用に導入。大規模災害や武力攻撃事態が発生した際の全国瞬時警報システム(J-ALERT)にも対応・県や市の医師会が災害時の医療体制の整備のため、MCA無線を配備・自治体がバスロケーションシステムや緊急連絡用に導入。災害時や事故の際は一斉通信機能を活用・コンビニエンスストア、生協等の流通業で災害時の物流確保等のために導入・金融機関、ガス会社、ビル管理会社、警備会社、マスコミ、大学などが危機管理用に活用・阪神・淡路大震災、新潟中越地震、岩手・宮城内陸地震など数々の災害現場で輻輳のないサービスを確実に提供し、救援・復旧に貢献
その他	平成21年4月に周波数使用期限が平成26年3月までとされた1.5GHz帯MCAの利用者を、今後800/900MHz帯に収容していくことが必要。

(903～905MHz帯)

	パーソナル無線
用途	簡易無線業務(業務用や海上・上空での使用を目的としないこと。)
局数	約2.07万局
周波数の使用に関する条件	(特になし)
その他	1回の送信時間は最大5分

(950～958MHz帯)

	RFID										
用途	移動体識別用 (FA、流通・POS、物流・運輸、セキュリティ、OA機器分野で使用)										
局数	アクティブタイプシステムの普及台数:約2,000台 パッシブタイプのリーダー/ライタの普及台数:約15,000台										
周波数の使用に関する条件	(特になし)										
その他	<p>パッシブ、アクティブ共に、860MHz帯(欧州)、925MHz帯(米国)、950MHz帯(日本)の3バンド対応を想定しており、最近のチップはすべて3バンド対応で設計されている。</p> <p>・アクティブタイプ</p> <table><tbody><tr><td>1mW(特定小電力無線局)</td><td>951MHz～957.4MHz</td></tr><tr><td>10mW(特定小電力無線局)</td><td>954.2MHz～957.4MHz</td></tr></tbody></table> <p>・パッシブタイプ</p> <table><tbody><tr><td>10mW(特定小電力無線局)</td><td>952.2MHz～957.4MHz</td></tr><tr><td>250mW(簡易無線局)</td><td>952.2MHz～956.2MHz</td></tr><tr><td>1W(構内無線局)</td><td>952.2MHz～956.2MHz</td></tr></tbody></table>	1mW(特定小電力無線局)	951MHz～957.4MHz	10mW(特定小電力無線局)	954.2MHz～957.4MHz	10mW(特定小電力無線局)	952.2MHz～957.4MHz	250mW(簡易無線局)	952.2MHz～956.2MHz	1W(構内無線局)	952.2MHz～956.2MHz
1mW(特定小電力無線局)	951MHz～957.4MHz										
10mW(特定小電力無線局)	954.2MHz～957.4MHz										
10mW(特定小電力無線局)	952.2MHz～957.4MHz										
250mW(簡易無線局)	952.2MHz～956.2MHz										
1W(構内無線局)	952.2MHz～956.2MHz										